



オーガニックフェスタ in いわて 2023 開催趣意書

環境保全農漁業生産者、エコロジーライフ提案者、グリーン消費者が集い、自然と調和したライフスタイルを体現するお祭り「オーガニックフェスタ」。岩手県内各地を巡回し開催するこのフェスタは本年度、釜石市鶴住居「根浜海岸緑地」にて開催いたします。

オーガニックとは・・・

日本語では「有機農業」として訳される言葉ですが、私たちの提唱するオーガニックとは、無農薬・無化学肥料という狭い意味でなく、自然と人がつながり万物が循環する世界という広い概念を持ち、そんな社会を構築することを目指して、このオーガニックフェスタを開催しています。

生産現場の枠を超えた運動へ・・・

新規就農希望者の9割以上が有機農業に関心を持ち、消費者の環境意識や食へのこだわりなど、まちがいなく『オーガニック』へのニーズは高まりつつあります。そして、東日本大震災以降、エネルギー問題を含め、私たちのライフスタイルが問われる中で、自然と調和した生活に向けて人々の意識も大きく変わろうとしています。

この「オーガニックフェスタ in いわて」は、自然との調和を目指す人々が集い、語り合い、つながることを願い開催するものです。

このフェスタを通じて、次の事を提案します・・・

- 生産者や消費者の枠を超えたゆるやかなエコロジーネットワークづくり
- 生産者と消費者が直接出会い、オーガニックや環境問題を楽しく学び合う場の共有
- 生産者と消費者が共に、循環型社会にむけた新たなビジョンを創造する
- 人と自然とが調和した社会を実現するためのしなやかな活動の場
- 衣食住だけでなく、学び、遊び、医療や福祉ともつながる生産のあり方を模索する

以上、簡単ですが、「オーガニックフェスタ in いわて 2023」の開催趣旨です。どうぞご理解いただき、ご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。

オーガニックフェスタ in いわて 開催の歩み

- 2012年10月
2013年8月31日
～9月1日
- オーガニックフェスタ in いわて 実行委員会設立
オーガニックフェスタ in いわて 2013 開催
会場：紫波町紫波オガール
参加団体：68、出展ブース：72、入場者数：10000人超
ゲストスピーカー：タカコナカムラ（料理研究家）
船瀬俊介（環境評論家）
- 2014年9月6日
～7日
- オーガニックフェスタ in いわて 2014 開催
会場：紫波町紫波オガール
参加団体：71、出展ブース：75、入場者数：20000人超
ゲストスピーカー：木村秋則（自然農法家）
- 2015年8月29日
～30日
- オーガニックフェスタ in いわて 2015 開催
会場：北上市展勝地、みちのく民俗村
参加団体：72、出展ブース：77、入場者数：10000人超
ゲストスピーカー：中島紀一（茨城大学農学部名誉教授）
C.W. ニコル（自然保護活動家）
- 2016年9月3日
～4日
- オーガニックフェスタ in いわて 2016 開催
会場：北上市展勝地、みちのく民俗村
参加団体：74、出展ブース：81、入場者数：15000人超
ゲストスピーカー：徳江倫明（フードトラスト代表）
加藤登紀子（歌手・鴨川自然王国理事）
- 2017年9月9日
～10日
- オーガニックフェスタ in いわて 2017
会場：八幡平市 焼走り国際交流村
参加団体：約70、出展ブース：80、入場者数：約7000人
ゲストスピーカー：かしわ哲&梶原徹也（歌手、ドラマー）
喜納昌吉&チャンプルーズ（歌手・環境平和活動家）
- 2018年9月8日
- オーガニックフェスタ in いわて 2018
会場：八幡平市 焼走り国際交流村
参加団体：約65、出展ブース：70、入場者数：約3500人
ゲストスピーカー：片山雄介（醸造研究家）、矢野知徳（環境造園家）
- 2019年7月14日
- オーガニックフェスタ in いわて 2019
会場：矢巾町 矢幅駅前やはばーく
参加団体：約55、出展ブース：60、入場者数：約2500人
有機農業技術講座：日野雄策（岩手県有機農業連絡協議会事務局長）
- 2022年10月2日
- オーガニックフェスタ in いわて 2022
会場：雫石町 世界アルペン記念公園
参加団体：約47、出展ブース：52、入場者数：約5000人
生産者、母親、教育関係、行政からの登壇者によるパネルディスカッション「子どもたちに安心安全な食べ物を」